

来年度から石狩市

市民と「協働」事業を実施

町づくりアイデア募る

【石狩】市は来年度、市民からの提案に基づいて市と市民で事業を実施する協働事業提案制度を始める。これまで行政主導で進められていたまちづくりを、市民にも担ってもらうことで、官民連携の市政運営を行うのが狙い。八月二十五日から提案を受け付ける。

(郡義之)

市は協働事業として算額の枠については「道路・公園での清掃」けない。提案者は、石狩市内で何らかの活動を行った加工食品の開発」をしていて団体であれば、「ボランティア」などのば、法人格の有無は問わない。

「育成活動」など提案者わなない。

が参画できる八分野を 提案を八月二十五日 想定。予算は市が支出 から九月十九日まで募 を盛り込んだ「自治基 の声を聴く課」72・

し、実施事業の数や予 集して十月までに第一 本条例」を施行。これ 3153へ。

来月25日 受付開始 **12月に最終審査**

路線短縮か赤字補てん

札幌線 中央バス、市に要求

【石狩】市は二十三 行している路線バス するか、現状維持のた 日、市議会総務常任委 「札幌線」について、 赤字を理由に早ければ 員会で、北海道中央バ 来年度四月にも路線短縮 すが札幌・浜益間で運 来年度四月にも路線短縮

に伴い、具体的な施策として、今回の制度を設けた。

市の佐々木隆哉・企 次審査を実施。十一月 画経済部長は「市民が に審査結果に対する市 民からの意見を公募し 民からの意見を公募し 民からの意見を公募し

た上で、十一月の最終 審査で実施事業を決定 事を実施するきかけつ 審査で実施事業を決定 事を実施するきかけつ

八月十一日には、募 集に關する説明会を市 が協力し合ってまちづ くりを進めることなど、 役所で開く。問い合わ せは市協働推進・市民 課を聴く課72・

札幌線は現在、札幌 た、近く浜益区内で住 ターミナルと市内浜益 民説明会を開催して市 区幌地区を一日一往復 民の意見を聞く考え。 している。中央バスに これに対して市は、 よると、乗客数は浜益 路線の維持を同社に求 発で、平日が平均四九 めているが、バス利用 者年々減少している ことあり、委員会で 三・二人。このうち、 は「事態打開は難しい」 浜益区内の利用が全体 (市企画経済部)との 見方を示した。八月に の15%前後(五十七人) 聞き取り調査を行って にとまとまっている。 収支は年間約四百万 利用実態を把握すると 一同に、今後、中央バ 一六百万円の赤字で、 同社は現在の路線を札幌 とも、今後、中央バス や地域住民と路線維持の方策を話し合うこ とになっている。

(郡義之)